

「国会議員の方たちは普段どの位礼儀作法に気を付けているの
でしょうか？」

平成30年6月6日

●とろっこさんからの質問

いつも西田先生を応援しております（^ω^）竹田恒泰さんの「日本の礼儀作法」と言う本を読んでいるのですが、私は、いわゆる庶民レベルの知識しかなかったので、『なるほど。』と思う所が多く、面白く読んでいます（^ω^）そこで西田先生に質問ですが、国会議員の方たちは、普段、どの位礼儀作法に気を付けているのでしょうか。もちろん、立場上、礼儀作法には非常に気を使っておられると思いますが、箸の上げ下ろしとか、細かいところも気を付けているのか、ちょっと気になりました（^ω^）良かったら西田先生のご所見をお聞かせください。失礼いたします m（_ _）m

●西田昌司の答え

私は形式にこだわった礼儀作法にはほとんど意味がないと思っていますし、それよりも相手を慮って接することの方がよほど大切だと思います。私は今、与党の国会議員ですが、野党の議員や役人と接する際もそのように心がけていますし、京都府議会議員の頃からそうです。そのような心がけさえあれば大概のことは問題がないのです。

私がこのように言う「西田さん、野党時代に与党議員に一番滅茶苦茶言ってたのはあなたじゃないの！」といったお叱りを受けそうですが、あの当時、与党側があまりに不誠実な態度しか示さなかったので相手の目を覚まさせるために敢えて厳しく接したのです。

私と考え方が全く違う野党の先生といえども、その先生に票を投じた多く

の有権者がいるわけですし、国民の代表という意味では与党も野党も違いはありませんから、野党の先生の立場を尊重して接しなければなりません。

官僚に接する際も、相手の立場をしっかりと考えなければなりません。官僚は法律の枠の中でしか行動することができませんので、官僚にいくら問題があったとしても、法律の枠から出ることのできない官僚からしたら致し方のない場合だってあるわけです。そのような場合は立法府たる国会が法律を変えて官僚が行動しやすいような環境を作らなければなりませんし、そうすれば官僚にもしっかりと物が言えるようになるのです。

国会にはいろいろな立場の方々がおられますが、相手の立場を尊重する謙虚さが大事ですし、形式にこだわった礼儀作法よりもそちらの方がよほど大切だと思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>